

2026年4月21日
 センクシア株式会社

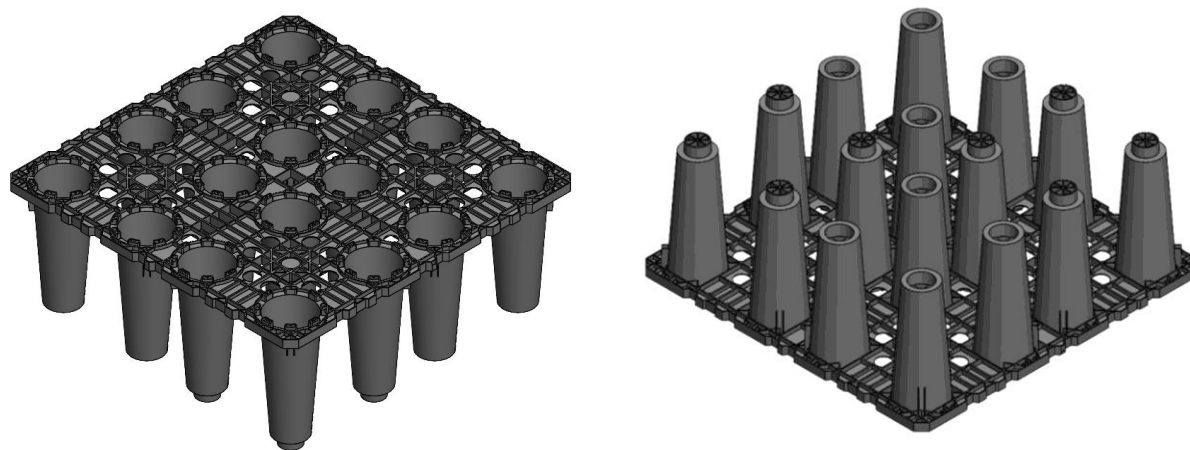
～建築用構造部材で培った技術力を雨水対策へ～

プラスチック製雨水貯留槽／浸透槽「アクアキャッチ SS」の商品化を発表

建材機器の製造・販売及び施工を手がけるセンクシア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：林雄一）は、建築用構造部材の分野で培ってきた構造技術を雨水対策へと応用し、開発を進めてきた**プラスチック製雨水貯留槽／浸透槽「アクアキャッチ SS」**を、このたび商品化しました。

当社独自の高強度設計により、施工トータルの省力化を実現

「アクアキャッチ SS」は、気候変動に伴う集中豪雨の増加や都市型水害リスクの高まりを背景に、建築用構造部材で培ってきた構造技術を応用し、**高強度と高い貯水効率（高空隙率）を両立した**プラスチック製雨水貯留槽／浸透槽です。効率的な施工計画が立てやすくなり、現場での組み立て作業や工程管理においても省力化を図ることができます。



「アクアキャッチ SS」本体イメージ図

【主な特長】 ※具体的な数値・仕様は別紙仕様表にて提示

1. 「前工程での施工」で残土処理量を減らし、トータルコスト削減に貢献

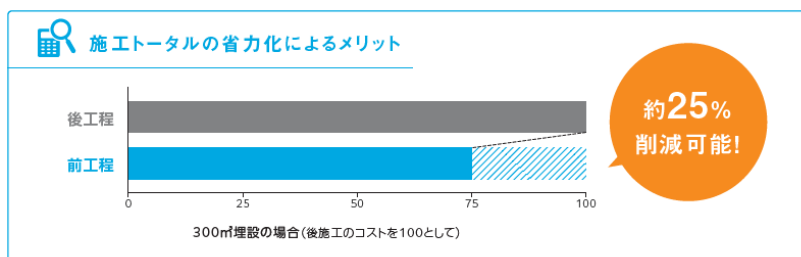
建築用構造部材で培ってきた構造技術を応用した高強度設計で、アウトリガーを張り出した 50 トン級のラフテレーンクレーン（通称：ラフタークレーン）による吊り込みにも対応可能です。貯留槽の設置を建築工事の前工程で行うことが可能となり、残土処理や重機手配など、施工全体の負担軽減に寄与します。



● 「アクアキャッチ SS」を、本体工事の前に行った場合（前施工）のメリット



貯留槽の「前施工（工事・作業）」により、残土処理コストをトータルで約 25%削減できます。
（300 m³施工時/当社試算）



2. 貯留槽工事の工期短縮

- ・業界トップクラスの貯水効率により、必要な貯留容量を比較的コンパクトなスペースで確保することが可能です。都市部や既存施設など、設置スペースに制約のある条件下においても、導入しやすい設計です。
- ・組み立てやすさに配慮したシンプルな設計とすることで高い施工性を確保するとともに、部材一つ一つを大きくすることで、基礎面の不陸など、現場条件の影響を受けにくい構造としています。

【今後の展開】

プラスチック製雨水貯留槽／浸透槽「アクアキャッチ SS」は、**今夏以降の出荷開始**を予定しています。今後は、提携販売中の天昇電気工業製「テンレイン・スクラム®」とあわせて、建築計画や敷地条件に応じた実効性の高い雨水対策の提案を進めるとともに、都市部を中心とした多様な建築物への展開を図ってまいります。

当社は「革新的なソリューションで社会インフラを支えるチャレンジングカンパニー」という長期ビジョンのもと、建築用構造部材において、多くの国内初の商品やサービス、前例のない工法を生み出してきました。「安心・安全」、「省力」、「対震*」、「環境」をキーワードに、製品・技術を通じてお客様と社会の課題解決に長年取り組んできた知見を、雨水対策分野においても活かしていきたいと考えています。 注：*対震：耐震、免震、制震等揺れることに対するもの全てを包含した用語

センクシアは、今後も建築分野で培った構造技術を軸に、社会インフラが抱える課題に向き合いながら、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

●本件に関するお客様のお問い合わせ先
センクシア株式会社基礎事業部 雨水事業推進室
TEL：03-4214-1932

●本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先
センクシア株式会社 経営戦略部 広報・マーケティンググループ
TEL：03-4214-1966 / E-mail：keiki@senqcia.com

プラスチック製雨水貯留槽／浸透槽「アクアキャッチ SS」商品概要・主な仕様

■商品概要

商品名：「アクアキャッチ SS」

主用途：商業施設・工場・倉庫・集合住宅の駐車場下、校庭・グラウンドの地中 など

技術評価認定：公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会の技術評価認定を取得申請中

商品サイト URL：<https://www.senqcia.co.jp/products/usui/>

■商品の主な仕様、部材構成

(記載の数値は、設計値または試験値であり、保証値ではありません)

ユニット寸法：950mm×950mm×700mm

空隙率^{※1}：95%以上（300 m³規模、高さ約 1.5m で 95.7%）「業界トップクラス^{※2}」

土被り（埋設深さ）：0.3m～2.3m（最大 3.0m）

鉛直方向設計許容応力：280kN/m² 「業界最強クラス^{※3}」

比重：> 1.0

部材種類：「業界最少クラス^{※2}」 5種

※1 空隙率は貯留槽の高さや体積などの条件によって変動する場合があります。

※2 他社公表値と 2026 年 3 月末時点での比較によるものです。業界とはプラスチック製雨水貯留槽の市場を指します

※3 雨水貯留浸透技術協会の指針に準拠した性能試験で算出、他社公表値と 2026 年 3 月末時点で比較しています。
業界とはプラスチック製雨水貯留槽の市場を指します。